

「東京発 建築民族誌：暮らしのためのガイドブックとプロジェクト」
(Architectural Ethnography from Tokyo: Guidebooks and Projects on Livelihood)

コンセプトとその理由：

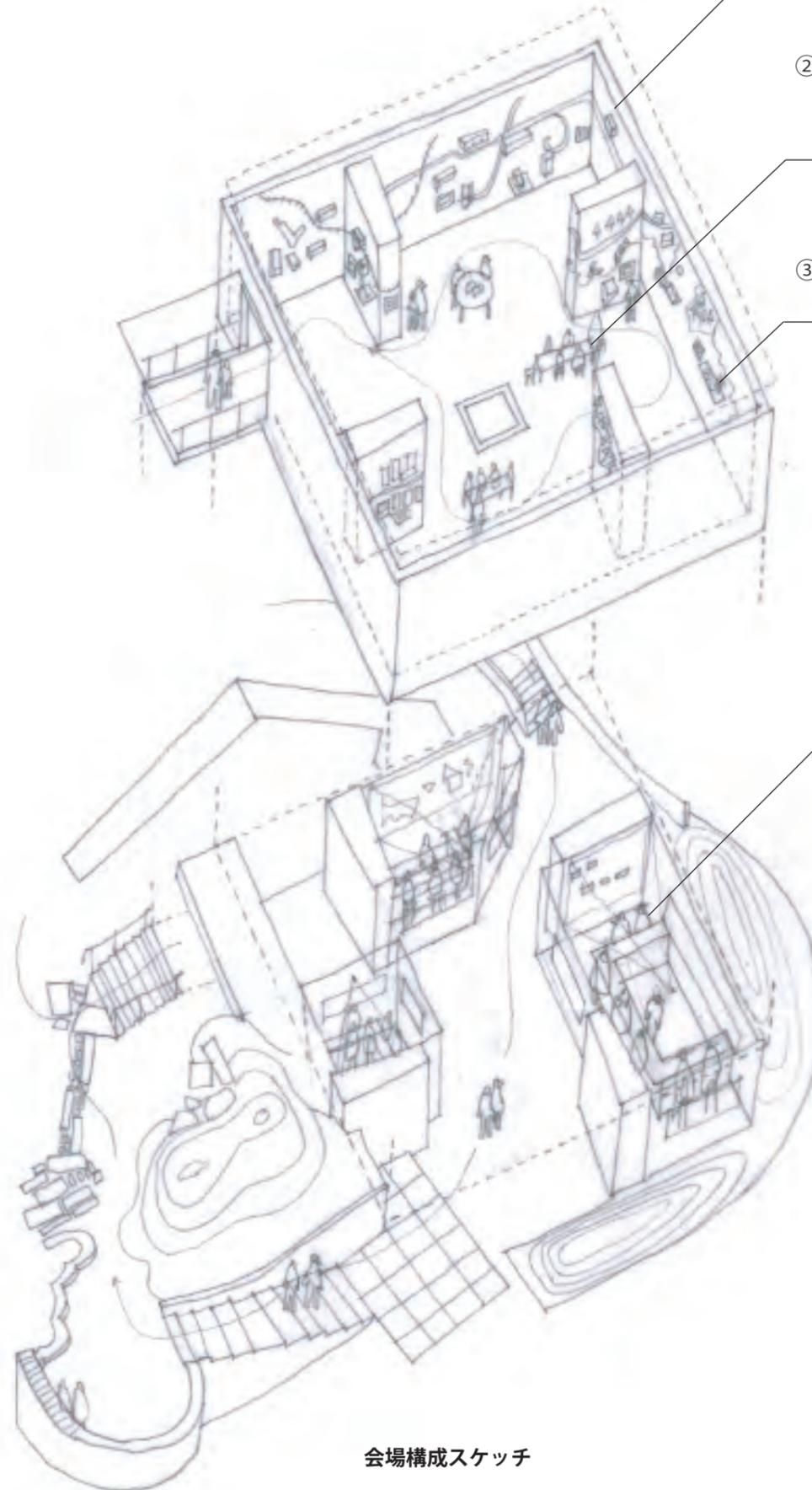
20世紀、社会の産業化は生産性を上げて、暮らしに利便性をもたらし、経済を成長させた。一方で、それは暮らしを産業社会のネットワークに再編することとなり、結果的に人々と身の回りの資源の間に障壁を生み出した。これを壊して、身の回りの資源へのアクセシビリティを高めるのが21世紀の建築の一つの役割である。暮らしを、産業の側からではなく、生活者側から描くために、生態学的、建築的に把握する。これが建築民族誌であり、その社会的共有ツールがガイドブックである。ここでは、高密度な都市空間における事物の隣接性が生み出すハイブリッドな構築物から、都市と農漁山村の交流に必要な空間まで、これまでの「作家」を主体とする見方では捉えられない、古くて新しい、土地のコンテクストに組み込まれたユニークな建築が、東京をはじめ、世界各地から報告されてきた。そこではそのリサーチにもとづいて、身の回りの資源へのアクセシビリティを改善するプロジェクトも提案されている。これらを一堂に集め、建築・都市論のエコロジカルな転回に弾みをつける議論のプラットフォームを構築、21世紀の建築像を照射するのが本展のねらいである。

展示会の内容は4つからなる。

- ①ガイドブックを収集、マッピング化。
- ②ガイドブックの広がり（東京から他の都市へ、都市から自然へ、調査から実践への展開）を分析、提示。制作者へのインタビューなどのまとめ。
- ③建築ガイドブックから派生した実践について取材し、模型、映像などでレポート。
- ④横丁の制作、これを活用した建築・都市論の議論の場としてのカフェバーの定期的運営と記録・発信。

【会場構成】

会場構成の内容は以下の4セクションからなる。



会場構成スケッチ

①ガイドブックを収集、マッピング化。

②ガイドブックの広がり（東京から他の都市へ、都市から自然へ、調査から実践への展開）を分析、提示。制作者へのインタビューなどのまとめ。

③建築ガイドブックから派生した実践について取材し、模型、映像などでレポート。

④横丁の制作、これを活用した建築・都市論の議論の場としてのカフェバーの定期的運営と記録・発信。オープニング、フィナーレ及び毎月1回の参加建築家あるいは大学による建築プレゼンテーションと議論の場の開催。それにあわせての飲料、スナックなどの提供あるいは販売を検討。通常時は休憩所およびスライドまたは映像による展示を予定。

【予算概要】

出展作品輸送費	1,000,000 円
関係者旅費	2,000,000 円
カタログ制作費（原稿料、翻訳料含む）	3,000,000 円
保険料	1,000,000 円
謝金	3,000,000 円
広報費	1,000,000 円
展示施工費	20,000,000 円
（全体グラフィック	2,000,000 円）
（①内部展示壁	4,000,000 円）
（②アーカイブスペース	4,000,000 円）
（③レポート	4,000,000 円）
（④ペット・アーキテクチャー制作費	6,000,000 円）
現地管理運営費	10,000,000 円
計	40,000,000 円

第16回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展
日本館キュレーター 指名コンペティション 応募書

【キュレーターチーム・建築家等出展作家の体制】

キュレーターチーム：

貝島桃代+ETHZ Studio Bow-Wow

Laurent Stalder (ETHZ 歴史建築研究所教授)

井関悠 (水戸芸術館)

3名のキュレーターを核として、大学および建築家、美術のネットワークを通じ、建築ガイドブック、プロジェクトの事例を収集する。



建築家等出展作家：

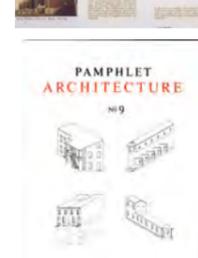
今後関連作品の収集、調査を行い、最終的な決定を行う。

(候補)

Giovanni Battista Piranegi, 今和次郎, 西山卯三, 神代雄一郎, 妹尾河童, Bernard Rudofsky, Dan Graham, Gordon Matta Clark, Steven Holl, MADE IN SHANGHAI(Li Xhanging et al), MADE IN BANGKOK (BETA), Made in Tokyo:15th Year Update(Lys Villalba), Miami(Adib Cure), GRAZ THE USUAL CITY(Alex Axinte), LA GREFFE ARCHITCTURALE une strategie pour intensifier la ville (EPFL/ENAC Christophe Antipas & Olivier Maystre), Made in Tokyo (TMIT), Lugares Comunes Recoleta-Independencia (Camenterio General de Santiago), Learning from Cairo(Beth Stryker et al), Cities without Ground A Hong Kong Guidebook(Adam Frampton), 浜のくらしから浜の未来を考える / 牡鹿半島復興計画のためのデザインパタンブック+コアハウス (AA 半島支援勉強会), みやしたこうえん (ナイキジャパン+渋谷区), 1K(福祉楽団) 他



先祖



スケール



時間

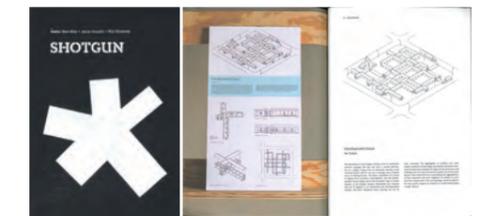
他の都市



まちづくり

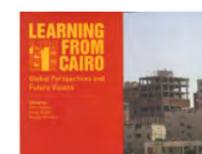


ビルディングタイプ



海外の都市事例

ツアー／観光／学習



ネットワーク

公共空間

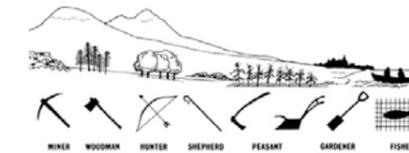


建築ガイドブックとプロジェクトの広がり

自然



農業と民家



地形

郊外



都市計画